

グローバル・コンパクト(GC)の目標と達成のためのメカニズム

GCは国連が初めて、直接、企業に対して提唱したものです。これは、企業が市民社会の一員としての役割を果たす「自発的なイニシアチブ」です。目標は次の2点であり、これらは互いに補完し合っています。

1. GCとその原則を企業は自社の企業戦略および企業運営に取り込む。
2. 多様なステークホルダー間の協力とパートナーシップにより、問題解決を容易にする。

グローバル・コンパクト(GC)の目標を達成するための4つの重要なメカニズム(GCの10原則を具体的に追求するには以下の方法があります)

①政策対話(Policy Dialogues)－現在、直面する課題の解決

毎年、GCでは、グローバル化や企業市民に関連したテーマを設定し、問題解決への道を開く場を設けます。この会議で企業は、関連する国連機関、労働組合、NGOなどと協力して、「紛争地域における企業の役割」や「企業と持続可能な開発」といった多くの企業が抱える問題を解決するノウハウを共有し、課題解決に取り組む機会を得ることができます。

②ラーニング(Learning)－実践活動の共有

参加企業はGCのウェブ・ポータルを通して企業の実践体験を共有することができます。また詳細なケース・スタディの分析をし、それらを実際のビジネスや学術の分野で役立てることが期待されています。国別、テーマ別の勉強会、そして国際的なラーニング・フォーラムの実施により、世界のGC参加者の知識と経験を共有することができます。

③ローカル・ネットワーク(Local Networks)－国・地域レベルのネットワークづくり

GCは国、あるいは地域レベルでGC参加者のネットワーク構築を奨励しています。ネットワークを構築することにより、10原則の実行や相互学習、情報交換、国および地域レベルでのグローバル化に関する政策対話の開催、パートナーシップ・プロジェクトへの参画、およびGC参加企業の適切な情報提供が可能になります。

④パートナーシップ・プロジェクト(Partnership Projects)－協同プロジェクトによるサポート

GCは、企業が国連機関や市民社会組織とともに国連のミレニアム開発目標(MDGs, <http://www.un.org/millenniumgoals>)の2015年までの達成を目指すパートナーシップ・プロジェクトに参加することを奨励しています。